

新しい価値の創造

関西ティーイーケイ(株)は、技術革新に挑戦し、地球環境、医療・健康といった成長分野において、最先端の技術を生み出すことで社会に貢献します。

事業を通じた社会的課題解決への貢献

関西ティーイーケイ(株)は、地球温暖化、資源枯渇をはじめとする地球規模の環境問題や、保健・医療に関する社会的課題にグローバルな視点からソリューションを提供します。

東レグループおよび外部のステークホルダーに対し、豊富な経験から培われた高い技術力によるエンジニアリング事業、長年の経験で培われた設備保全事業および設計から部品加工・組立まで一貫して行えるものづくりの機器事業の3事業を融合した新たなエンジニアリング技術を提供しています。

「エンジニアリング」事業は、プラント事業を中心に滋賀・北陸・愛媛に拠点を配し、設備の基本計画・設計から試運転・調整まで柔軟な発想と技術力で提案型ビジネスを展開しています。

設備保全「メンテナンス」事業は、東レ(株)の滋賀・石川・愛媛の各工場の生産設備を全うな状態に保つことを主要命題とし、ここで培った技術・技能を一般外部のお客様へも提供しています。

機器「マニュファクチャリング」事業は、お客様のいかなる仕様にも力強く応える技術体制で、機・電一体のものづくり機能を強化し、お客様の生産設備の競争力強化の一翼を担っています。

絶え間のない技術進歩の中で、高度化・多様化するお客様のニーズにいち早くお応えするため、関西ティーイーケイ(株)は、技術力と提案力のある「人財*」により、「安全・防災・環境保全」「企業倫理・法令遵守」をはじめとしたCSRの推進を経営の最優先課題として、社会へ貢献する経営理念を具現化し、持続可能な企業集団として発展していきたいと考えています。

*:人が財産との主旨から当社では「人財」と表記しています

マネジメント

関西ティーイーケイ(株)は、中期経営課題において、成長分野における事業拡大として「グリーンイノベーション事業拡大(GR)」と「ライフイノベーション事業拡大(LI)」および「レトロフィット(Retrofit)事業の展開」を重要課題として取り上げ、東レグループとの協働を通じて強力に推進しています。

グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト

グリーンイノベーション事業売上高

2015年度目標 → 実績 **12.8** 億円

東レグループは、「全ての事業戦略の軸足を地球環境に置き、持続可能な低炭素社会の実現に向けて貢献していく」という経営方針のもと、地球環境問題や資源・エネルギー問題を解決し、持続可能な低炭素社会の実現に貢献していくことを目指しています。

東レグループは、以前から地球環境に貢献する製品、素材を提供してきましたが、2011年度からは、重要性を増す地球環境問題に対応して「グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト」を立ち上げ、取り組みを強化しました。これを受けて、関西ティーイーケイ(株)も、2014年度から、中期経営課題の柱として「グリーンイノベーション事業拡大(GR)」に積極的に取り組んでいます。

省エネルギーの分野である自動車・航空機軽量化のための炭素繊維複合材料の事業拡大では、東レ(株)の炭素繊維とその複合材料であるCFRP関連製品を製造する設備や装置を、水処理事業の拡大では、東レ(株)の膜処理技術を利用した海水淡水化設備や工水上水化設備を、およびバイオマス由来のセルロース糖化プラントなどを設計・製作・施工しています。

また、新エネルギーの分野でも、太陽光発電装置(1MW未満)設置で実績を積み上げており、より高性能で高品質な製品・施工技術をお客様にお届けできるよう「イノベーション」に取り組んでいます。

2015年度の当社グリーンイノベーション事業の売上高は12.8億円で、東レエンジニアリング(株)のエンジニアリング関係会社3社による技術交流のための「GR推進プロジェクト会議」を立ち上げるなど、さらなる事業拡大を目指しています。

●グリーンイノベーション事業事例



Voice



取締役
エンジニアリング
事業本部副本部長
プラント事業部長
かさはらのぶゆき
笠原 伸介

当社は、東レ(株)の中期経営課題「プロジェクト AP-G 2016」に連動し、GR(グリーンイノベーション)事業を積極推進しています。

地球温暖化、大気汚染、水不足など地球規模の課題として重要性を増す環境問題や資源、エネルギー問題の解決に貢献する事業を鋭意拡大していきます。既に実績のある太陽光発電、膜処理技術をベースに、地球にやさしく、かつ世の中のお役に立つことを常に考え、提案していきます。

ライフイノベーション事業拡大プロジェクト

ライフイノベーション事業売上高

2015年度目標 → 実績 **9.0** 億円

東レグループは、グループの技術と事業基盤を生かして、医療の質の向上、医療現場の負担軽減、健康・長寿に貢献するなど、健康・医療分野での社会的課題の解決に貢献する「ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト」を、2014年4月に開始し

グループ横断的に推進しています。

関西ティーイーケイ(株)は、この「ライフイノベーション事業拡大(LI)プロジェクト」に沿って、医療材事業関連設備の設計製作、関連部品、関連部材の製作に力を注いでいます。また、東レ(株)医薬品製造工場建設で培った東レエンジニアリング(株)のプラント建設の知見を継承し、北陸、西日本を中心とした医薬品メーカーのプラント建設工事にも注力しています。医薬品の製造には、研究・開発から治験薬製造、原薬製造、製剤、包装など、各工程ごとに厳格な管理が必要です。当社は、その厳格な管理が求められる医薬品製造プラントにおいて、GMP*対応、品質管理、生産効率の向上の支援など医薬品製造現場で求められる要望を的確に形にすることで、お客様とタッグを組み、信頼性の高い医薬品製造プラントを育て上げています。また、品質、信頼性、安全性、環境配慮など、すべてにお応えできる医薬品プラントをエンジニアリングすることにより、人々の健康に貢献しています。

この分野は、少子高齢化が加速する中、より多くの方が末永く健康で暮らすことができる社会を実現するために必要な重要事業分野であると考えています。

なお、当社は、インプラント(人体の組織・骨・血液などに接触し連続して30日間以上体内に留置される)医療器材・製造設備の受注に関しては、極めて慎重な対応を行うこととしています。

2015年度の当社ライフイノベーション事業の売上高は9.0億円であり、東レ(株)が進める医薬医療の研究開発支援エンジニアリングと医薬品製造工場向けプラントエンジニアリングを2本の柱として、さらなる事業拡大に向けて「イノベーション」に取り組んでいきます。

*: Good Manufacturing Practice
(医薬品および医薬部外品の製造管理および品質管理の基準)

Voice



北陸事業所
営業部長
さとう まこと
佐藤 誠

私は、北陸地域を中心として、化学工場、医薬工場におけるエンジニアリング業務(営業・設計・施工管理)を担当しています。ライフイノベーションは、少子高齢化が加速する中で、より多くの方が健康でいきいきと暮らすことができる社会を実現する重要な事業分野と位置付け積極的に取り組んでいます。

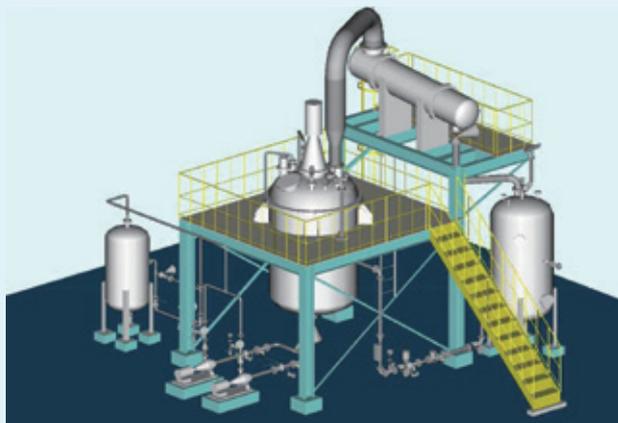
特に、北陸は古くから製薬業が盛んなこともあり、昨年は新幹線も開通し今後益々成長が期待される地域です。お客様と緊密に接し、お困りごとのスピーディーな解決・提案を心がけて、東レグループで培った技術を提供していきます。

「レトロフィット(Retrofit)」事業の展開

「レトロフィット」とは、プラント業界でも最近よく耳にするようになった言葉ですが「設備や装置を、改装・改善して新型の設備や装置として蘇らせる」ことです。国内企業も、平成景気(バブル)期あるいはそれ以前に建設された設備・装置の老朽化が進み、いよいよ更新時期にさしかかっています。

関西ティーイーケイ(株)は、お客様の設備投資効率を上げるための切り口として「レトロフィット」の要求に対応する事業を展開しています。生産設備の更新は多額の設備投資を必要とします。最新の技術に一気に置き換えられるという利点がありますが、投資回収リスクに対する懸念は否めません。「レトロフィット」によるお客様のメリットは、①新設に比べて割安、②工期も短く完成、③最新の技術を採用、④改造後の立ち上げ時間の短縮、さらに⑤廃棄物を削減し環境に配慮した施工が可能、などがあります。

関西ティーイーケイ(株)は、3Dスキャナー・3DCADを有効活用し、お客様の既設設備の最適部分改造による生産性向上、品質向上、省人化など、東レグループにおける取り組みを応用した「レトロフィットプラン」を提供します。お客様のプロセスを理解し、お客様と共に考え、最適プロセス、最適設備を立案します。特に既設設備の一部改造、一部機器の更新などの手間の掛かる細かい改造工事をお客様の立場に立って提案、課題解決に貢献していきます。



3Dスキャナー・3DCAD活用例

事例1：生産設備への適用例

- | | |
|-----------|-------------|
| ① 一般設備の更新 | ⑤ 付帯設備の増設 |
| ② タンクの更新 | ⑥ 自動化、省力化 |
| ③ 電動機の更新 | ⑦ 連続生産化 |
| ④ タンクの増設 | ⑧ 制御盤の更新 など |



事例2：排水処理設備への適用例

- | | |
|-----------|-------------|
| ① 設備全体の更新 | ⑤ 前処理の増設 |
| ② レーキの更新 | ⑥ 監視システムの導入 |
| ③ 電動機の更新 | ⑦ 制御盤の更新 など |
| ④ 原水排水の濃縮 | |

